

認定番号：38

サポーター名：MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

取組実績

1. MS&ADグループ（以下弊社グループと記載する）の「MS&ADグリーンアースプロジェクト」

○弊社グループとして令和4年度から自然環境の保全・再生や環境負荷低減、防災・減災、地方創生をテーマとした「MS&ADグリーンアースプロジェクト」を開始した。この活動は、eco 保険証券、Web 約款、動画パンフ等の活用による寄付の実施を含む、4つのテーマ（※1以下に補足記載）の実施により、レジリエントでサステナブルな社会の実現を目指している。

※1：4つのテーマ

- ・自然環境の保全・再生による防災・減災と地方創生。
- ・ペーパーレスによる環境負荷低減。
- ・電力やガソリン利用の抑制による環境負荷低減。
- ・廃棄物削減による持続可能な資源の利用。

○弊社グループ社員による水災の被害軽減などの社会課題解決に向けた環境保全・再生活動（※2以下に補足記載）は、日本国内3カ所で活動し、社外ホームページで写真と動画による情報を発信した。活動の進捗については、都度活動の公式SNS（インスタグラム）で発信した。

※2：弊社グループ社員による環境保全・再生活動

自然が本来持っている、災害を予防したり被害を減らすといった自然の力を維持・回復することによって、地域の課題を解決し、地方創生に繋げていく活動。社員とその家族が、各地の住民や研究機関、行政の方々と一緒に実施している。熊本県球磨川流域と千葉県印旛沼流域では流域治水や水循環の健全化、宮城県南三陸町では地方創生を主なテーマとして、社員が現場で活動に参加しながら学びを深めた。

認定番号：38

サポーター名：MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

取組実績

(1) 熊本県球磨川流域

大きな被害をもたらした令和2年7月豪雨を受け、球磨川流域では河川区域だけでなく、流域全体を対象にハードとソフトを組み合わせた新しい考え方の治水対策「流域治水」に、環境的な視点を組み込み、持続的な地域づくりや環境保全も同時に追求する「緑の流域治水」を推進している。この一環として球磨川支流に位置する湿地の保全と自然を活用した防災減災や地方創生に取り組んでいる。

(2) 千葉県印旛沼流域(印西市,白井市)

印旛沼流域における健全な水循環の維持・創出のため、NPOや研究者による地域での取組みと連携し、水循環の維持・創出に貢献する湿地の保全・再生を中心に、地域の社会課題解決に取り組んでいる。この地域の谷津は、低地の湿地や台地の草原・斜面林等で形成された景観を形成している。この谷津の環境を良くすることで雨水の浸み込みや貯水機能を高め、下流に暮らす地域の方々の安全に貢献しつつ、生物多様性保全、温室効果ガスの削減、水質浄化にも貢献している。

(3) 社外ホームページで、グリーンアースプロジェクトについて発信

弊社グループ社外ホームページで、グリーンアースプロジェクトの個別ページを作成して情報を発信した。掲載開始は令和4年度、テーマは自然環境の保全・再生や環境負荷低減、防災・減災、地方創生であり、その活動について「MS&ADグリーンアースプロジェクト」として、熊本県球磨川流域、千葉県印旛沼流域、宮城県南三陸町の活動について掲載中である。

認定番号：38

サポーター名：MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

取組
実績

2. 「グリーンレジリエンス」活動のPR

弊社グループは、流域治水にもつながる地域の自然を活用した安心・安全というコンセプトを「グリーンレジリエンス」（※1に補足記載）と称し、社外ホームページや新聞広告を通じて、PRを実施した。

※1 グリーンレジリエンス

令和3年11月に英国で開催された「COP26」では、2030年までに森林破壊をなくすという目標が提唱され、日本を含む100か国以上の政府が合意し、その解決策として、生態系を活用して気候変動を緩和する「Nature Based Solution」の概念が示された。弊社グループは、生態系を活用して気候変動の緩和と適応等の課題を解決する「Nature Based Solution」を「グリーンレジリエンス」と呼び、いち早く取り組んできた。「グリーンレジリエンス」とは、自然の恵みを活かし、生物の多様性を守りながら、自然災害の被害を和らげ、その魅力で地域も活性化するという、好循環を生み出す考え方である。